

モンゴル経済トピック（2010年11月）

今月の主なトピック

- 「モンゴル 999」が、ウムヌゴビ県にルクセンブルク企業とコークス化学工場を設立する契約を締結。（経済）

詳細は各項目を参照

1. 経済

- 「ウランバートル鉄道」社（モンゴル・ロシア合弁企業）の社長にオチルフー大蔵副大臣が任命された。（MT1）
- バトボルド首相は、ロシアのキリエンコ「ロスアトム」社代表取締役社長とウラン分野における協力について意見交換を行い、モンゴル・ロシア合弁会社を立ち上げ、速やかに活動を開始することで意見が一致した。（TR1）
- 天野 IAEA 事務局長はモンゴルを訪問し、エルベクドルジ大統領、バトボルド首相、ザンダンシャタル外交・貿易大臣らと会談した。また、モンゴルにおける原子力発電所の建設に関する事前調査を行うための支援を行う用意がある旨発言した。（SH2）
- 世界銀行による国別の企業活動環境評価において、2010年のモンゴルの順位は183ヶ国中73位（昨年60位）に後退した。（MT5）
- ペトロマタド社は、ドルノド県マタド郡ダブスントルゴイ地域のツァガンツァブ、ズーンバヤン地層付近において、新たな油田を発見した。石油の埋蔵量等は未調査。（MM5）
- 10日、定例閣議が開催され、スフバートル、ザミンウード、エレーンツァブ及びアルタンボラグの国境検問所を通じて輸入されているA80ガソリンに対する特別税を1トン当たり21万トグログから15万トグログに、A92ガソリンに対する特別税を1トン当たり20万トグログから17万トグログにそれぞれ引き下げることとした。また、ディーゼル燃料の特別税については、1トン当たり13万5千トグログから20万トグログに引き上げることを決定した。（MT11）
- 11日、国家統計委員会は、2010年10月時点における社会・経済統計結果を次の通り発表した。
 - マネーサプライは3兆8731億トグログ（前年同期比45%増）。
 - 127カ国と総額約50億トグログの貿易取引が行われた。そのうち、輸出が約22億7500万トグログ、輸入が約25億3300万トグログとなっており、輸出品の94.7%を鉱物資源が占めた。（SH12）

- 11日、モンゴル銀行（中央銀行）による定例外貨取引が開催され、モンゴル銀行が市中銀行側から2080万ドルの買い取りを行った。（AE12）
- 「オヨー・トルゴイ」社及び道路・運輸・建設・都市計画省は、オヨー・トルゴイ鉱山と中国との国境検問所であるガションソハイト間を結ぶ道路整備に関する協力覚書に署名を行った。道路整備には総額約1億米ドルの経費が見込まれており、工事完了は2012年の8月を予定している。（MM15）
- 「モンゴル999」コンソーシアムは、ルクセンブルクのポールワース社と共同でウムヌゴビ県にコークス化学工場を設立することで合意し、契約を締結した。（AE16）
- 15日、モンゴル銀行による定例外貨取引が開催され、モンゴル銀行が市中銀行側から450万ドルの買い取りを行った。（AE18）
- エルベグドルジ大統領は、訪日の際に、松下日本経済産業副大臣と会談し、2012年までに日本・モンゴル間のEPA締結を目指す旨発言した。（MT18）
- 18日、バートルゾリク・ウランバートル副市長は、ジャン韓国運輸安全管理庁長官と会談を行い、モンゴルにおける自動車のナンバー及び定期点検に関する協力覚書に署名を行った。（NT19）
- 18日、モンゴル銀行による定例外貨取引が開催され、モンゴル銀行が市中銀行側から1520万ドルの買い取りを行った。（AE18）
- 16日、ザンダンシャタル外交・貿易大臣及び前原日本外務大臣は会談を行い、ツーステップローン（フェーズ2）の実施に係るE/Nに署名式を行った。（MT22）
- 国家統計委員会は、2010年11月15日時点における貿易状況を次の通り発表した。
 - 貿易総額は50億5350万米ドル（前年同期比49.1%増）
 - 輸出総額は24億6720万米ドル（前年同期比55.8%増）
 - 輸入総額は25億8630万米ドル（前年同期比43.1%増）
 - 貿易赤字は1億1910万米ドル（前年同期比46.9%減）（AE22）

2. 経済協力

- 10月29日、城所駐モンゴル日本国特命全権大使とアムガラン・ゴビアルタイ県知事との間で、日本政府の草の根無償資金協力を通じて実施される「ゴビアルタイ県バヤンオール郡学校寄宿舎及び調理室改修計画」に関する署名式が行われた。（MT1）
- オリバーEBRDトルコ・東欧・中央アジア地域担当責任者は、モンゴルを訪問し、バトbold首相、バヤルツォグト大蔵大臣、ゾリクト鉱物資源・エネルギー大臣ら政府要人と会談した。また、モノス株式会社（医薬品・化粧品メーカー）等の民間企業と協力契約を締結した。（SH2）

- 世界銀行の農牧・食料安全保障計画の幹部会合が開催され、モンゴルの「牧畜業に基づいた総合生活支援計画」が支持され、モンゴルの家畜部門に1250万米ドルを供与することが決定された。(TR8)
- 7日、モンゴル大統領府及びスイス開発協力庁との間で、地方自治体の予算権限の強化を図るための適切なメカニズムの導入を目指す協力覚書の署名式が行われた。(NT8)
- 9日、欧州経済開発評議会、スペイン・エンジニア連盟の代表らは、モンゴルを訪問し、モンゴルへの先端技術の導入、投資促進、建設・教育分野の改善、雇用創出等を目的にモンゴル生産者連盟と協力する旨発表した。(MT10)
- 11日、モンゴル政府と欧州委員会との間で、2011年～2013年に実施される1500万ユーロの無償資金協力に関する覚書の署名式が行われた。今回供与される1500万ユーロのうち、700万ユーロが地方における職業センターの強化に、800万ユーロが欧州基準の導入を目的とした国家公務員の能力向上にそれぞれ充当される。(SH12)
- 12日、モンゴル政府及びドイツ政府間で2008年度に締結された協定「ウランバートル市食糧供給改善を目的とした交通インフラ整備計画」(総額450万ユーロ)の一環として、ウランバートル・ダルハン間の幹線道路からトゥブ県ボルノール郡への7.45キロメートルの道路及び同県ジャルガラント郡への24.72キロメートルの老朽化した道路を新しく舗装する予定。(AE15)
- 15日、国際原子力機構(IAEA)は、モンゴルにおける口蹄疫対策の一環として、フランス製の口蹄疫予防ワクチン20万ドース(92,000ドル相当)を無償資金協力にて供与する旨発表した。(MR16)
- 16日、モンゴルとドイツ間において、モンゴル政府立案による「蜂の巣計画」(モンゴル国内外に居住するモンゴル人間の協力を目的)への支援に関する対話が行われた。ドイツは同計画の実施に対して、20万ユーロの支援を行う予定。(MM17)
- 19日、日野駐モンゴル日本国臨時代理大使とダムディンドルジ家畜衛生・繁殖庁長官との間で、草の根人間安全保障無償資金協力を通じて緊急支援として実施される「口蹄疫ワクチン及び注射器供給計画」の署名式が行われた。(MR23)
- モンゴル鉱物資源研究所と日本の双日総合研究所は、共同で灰煙量の少ないブリケットの市場化を目的とした「モンゴルの環境保全および低カロリー石炭の利用普及支援調査協力」プログラムを実施。(SH25)
- バヤルバートル・米国ミレニアム挑戦基金モンゴル事務所長とモリス・ハーン銀行総裁との間で、現在、米国ミレニアム挑戦基金モンゴル事務所が実施中の大気汚染削減計画を、ハーン銀行と共同で実施することに関する覚書の署名式が行われた。(MM25)

- 29日、ザンダンシャタル外交・貿易大臣と城所駐モンゴル日本国全権大使との間で、2009年12月に署名されたE/Nに基づき、日本米9737トンの「食糧援助」の引渡し式が行われた。(UN30)

3. 金融

(特記事項なし。)

4. 貿易等

(特記事項なし。)

5. インフラ

(特記事項なし。)

6. エネルギー

(特記事項なし。)

7. 教育

(特記事項なし。)

8. 農牧業

- 7日現在、スフバートル県及びドルノド県の16郡において、合計24,195頭の家畜が口蹄疫に感染し、そのうち24,176頭が殺処分された。また、スフバートル県、ドルノド県、ドルノゴビ県及びヘンティ県の43郡の43,879,949頭の家畜を対象に予防接種を行う予定であり、現在までに、2,591,196頭の家畜にワクチンを接種した。(MM5)
- 9日、ヘンティ県バヤンムンフ郡において、牛2頭が口蹄疫に感染していることが判明した。また、同郡の6世帯の牛17頭に口蹄疫の症状が確認されたため、殺処分された。(MT10)
- 21日、ゴビスンベル県スンベル郡において、牛20頭が口蹄疫に感染していることが判明し、全頭殺処分された。(MT22)
- ウランバートル市は、口蹄疫対策としてロシアからワクチンを購入し、ワクチンの接種を開始した。23日現在の進捗状況はバガノール区5.7%、バガハンガイ区81%、ナライハ区5%、ハンオール区20.3%、バヤンズルフ区40.2%、スフバートル区32%、チンゲルテイ区73.4%の家畜にワクチンを接種済みであり、26日までに同市内の全家畜のワクチン接種を終了する予定。(UN24)
- 国家非常事態庁は、ドルノド県とスフバートル県の全家畜のワクチン接種が完了したため、同2県の警戒態勢を解除することを決定した。(SH29)

9. 保健医療

- 17日、ランバー保健大臣は、ウランバートル市、ヘンティ県、ゴビアルタイ県、ドルノゴビ県、ウブルハンガイ県、ダルハンオール県及びフブスグル県にて肝炎の感染が集中的に発生していることを発表した。(MM18)

- ヘンティ県で肝炎の感染の拡大が確認され、ウンドウルハーン郡の3つの幼稚園が2週間閉園されることとなった。また、同県北部3郡の2498名を対象として、肝炎の検査を実施することとなった。(UN24)

10. 環境

(特記事項なし。)

11. 情報通信

(特記事項なし。)

12. その他

(特記事項なし。)

※括弧の中の記号は新聞名と日付を表す。

(US ウドゥリーン・ソニン紙、ZM ゴーニー・メデー紙、UN ウヌードウル紙、MM モンゴリン・メデー紙、TR ウネン紙、AE アルディン・エルフ紙、SH ウンデスニー・ショーダン紙、NT ニーゲミーン・トリ紙、MP ウグルーニー・ソニン、MT モンツァメ通信)

(了)